

学習内容と到達目標

☞ 自分のした決断について振り返る。友人と思い出を語り合う。

指導のポイント

いよいよ完結！ 山川さんの恋の結末、村上さんのその後、本田さんの市長選。その全ての結末が今明らかに。日本語初級テキストで初めての回想シーンも登場！ お楽しみに。

1. INTRODUCTION 第14課の復習。[5. LISTENING] でした練習を再度行い、「あの時～ていたら、～ていたでしょう」という表現が定着しているかどうか確認する。また、「～たら、～ようと思っていました」や「～たら、～つもりでした」などの表現も定着しているかどうか確認するようにする。

2. SPEAKING まず、二人が来ている服がいつもと違うことに注意を向けさせ、二人が大学の卒業式を終えたばかりであることに気づかせる（枠で囲まれた7枚のイラストが大学でいっしょだった留学生たちの近況を表していることも）。その上で、7人の近況について説明させる。「ジュディスさんは病院で働いています」のように断定的に話した時は、「どうして知っていますか？ ジュディスさんに会いましたか？」のように質問し、それが伝聞情報であることを何らかの形で表現させるようにする（伝聞の「そう」はこれから学習するので、ここでは「ジュディスさんから聞きました」でOK）。

3. LISTENING ①では [2.SPEAKING] の絵を見ながら会話を聞かせ、イラストの間違いを指摘させる。全て指摘できたら、②でスクリプトを読ませ、①の答えを確認。その後、この課で学習する伝聞や推量の表現、文脈指示の「そ」と「あ」の使い分けなどに注意を向けさせる。

4. FOCUS ①で「そ」と「あ」の使い分けについて学ばせた後、本当に理解できているか確認するために、②で本文に戻り、1～5の「そ」と「あ」が何を指しているかを答えさせる。③では、ただ機械的に練習するのではなく、情報源を表す「～の話では」と「～によると」の違いや、伝聞の「～そうです」と「～って」の違いを意識しながら、答えさせるようにする。また、④の「～みたい」を練習する時には、12課で学習した「～ようです」との違いも考えさせるようにする。最後に、⑤で伝聞の「～そうです」と様態の「～そうです」の形式上の違いについて確認する。

5. SPEAKING ①では、この課で学習した表現を使って、高校時代、あるいは大学時代の友人や先生が今どこで何をしているかを話させる。また、②では卒業から1ヵ月が経ち、山川さんと村上さんが今どうしているかを、絵から想像させ、話させる。

6. PAIR WORK

①では [5. SPEAKING] の絵を見ながら CD を聞かせ、イラストの間違いを指摘させる。全て指摘できたら、②でじっくりとスクリプトを読ませ、内容を確認。同時に、この課で学習した表現の使い方を改めて確認する。

補足

○テキストの最終頁にある「山川さんからのメッセージ」は、質問の答を書き入れ、グレーになっているマスだけを読むと、ある言葉が出てくるようになっているので、教科書をもう一度読み返させたい時に活用するとよい。